

参道が広くなります

常楽寺参道が、この度、八木貴男・君江ご夫妻の「厚意」により、西に隣接する用地を、巾一メートル、長さ四十六メートルにわたって、寺に寄進していただくこととなり、参道の巾を広く拡幅することとなりました。

すでに工事は始まり、参道の西側の椿の並木が撤去されて、広く拡幅された西側には、低い瓦屋根の乗った、きれいな築地塀がまもなく完成する予定です。

今まで、常楽寺には広い駐車場も完備していましたが、参道がやや狭く、その上、参道両側に植樹した椿の木が、四十五年の歳月の流れで、次第に成長して大きく茂り、通路もますます狭なり、大型のバスの乗り入れも困難になってしまいました。また、一般の車輛も参道上では、交差出来ず、

途中で立ち往生する

状態でしたが、この度の

八木貴男ご夫妻の快い「寄進

により、参道が広く拡幅されて、車両も自由に行出来るようになります。

今までの、常楽寺の一つの顔だった椿のきれいな参道通りの、一方の椿を撤去するのは、大変忍びないことですが、今日の車社会の中ではやむを得ないことで、今回の八木貴男ご夫妻の「厚意」心より感謝と御礼を申し上げます。

参道の大きく立派に育った椿の木は、今から四十五年前、常楽寺の最初の小さな本堂が完成した時、私の職場の同僚だった野村さんのご主人が、種をまいて育て始めた、本当に小さな苗木を戴いて植えたもので、当時の寺の役員さんたちが、その後も丹念に手入れをされて、立派に育てて来られたものでした。

常楽寺
だより

27.2.20

三月二十一日(土) 午前十時より

先祖総供養会法要です。

本年も、三月二十一日(土)春分の日、午前十時より、常楽寺本堂で『常楽寺護持会総会』、『先祖総供養会』を厳修いたします。

各ご家庭のご先祖供養のお塔婆も準備し、「一緒に」先祖のご供養をいたします。是非、「ご家族揃って」お出掛け下さい。又、各ご家の「ご先祖供養」のお塔婆(八王子霊園のお檀家さんには、「ご供養のお線香を準備します。）」をお受け取りいただき、「ご先祖のお墓詣り」をして下さい。

護持会費年間五千円については、後日集金させていただきます。

和紙で表現する

写真と書の世界

写真 宮澤正樹 書 本城亮俊

後援 上毛新聞社

- と き 平成27年3月17日(火) ~ 4月12日(日)
「午前9時~午後5時迄」
- ところ 太田市上田島町372 常楽寺
境内「うすさま明王堂」

常楽寺の春を彩る、ミツバツツジ・サクラ・ハナミズキで賑わう季節に、写真家宮澤正樹氏の和紙に現像した花の写真と、住職本城亮俊の書の合作「写真と書の世界」展を企画しました。

どんな作品展になるか、楽しみです。どうぞお出かけください。

主催 群馬県太田市上田島町372番地
紫雲山阿弥陀院 常楽寺
☎0276-31-0001

三月四日(水)午後三時から、常楽寺を会場に、

群馬県東部地域の各寺院さんの物故された「住職の「先師供養会」を厳修します。二十名ほどのお坊さんや、「詠歌隊の方々も参加して、荘厳な法要がひらかれます。参加は自由です。お出かけください。